

# 「やさしいほとけさま」

田中 希音花 (たなか ののか) 5歳

天竜保育園  
(宮崎教区)

## ●表紙のこたば●

優しいお顔の仏さまを中央に描き、光背(後光)や台座なども丁寧に描いています。いつも先生からお話を聞いたり、礼拝で見たりしている仏さまですが、今回、あらためて見て描く機会を得たことで、たくさんの新しい発見があったようです。「お顔ってこうなっているんだね」と近くまで行って確かめ、さらにお供え物の果物や、扉絵の動物たちへと、その視線とともに関心を広げていったことがわかります。

この絵の本当の良さは、上手に写生していることでも、丁寧に描いていることでもなく、今ここで、仏さまと対話し、お供え物やお花と対話し、扉に描かれた動物たちと対話しながら感じ取った、いのちの通った世界を描き出していることなのです。仏さまを見て描くという活動は、新しい発見や驚きをもたらし、想像の世界の中で楽しく遊びながら、希音花さんにとってのお浄土の世界を表現していく場となっていました。



おおはし いさお  
**大橋 功**

岡山大学学術研究院  
教育学域